

I 業 績

1. 健康科学部門

吉川 弘明

学内委員会など

- ・ 金沢大学産業医
- ・ 金沢大学附属病院安全衛生委員会委員
- ・ 金沢大学安全衛生マネジメント委員会委員
- ・ 金沢大学感染症予防・対策委員会委員
- ・ 金沢大学学生生活部会委員
- ・ 金沢大学喫煙対策ワーキング・グループ委員長 (2010年3月31日まで)
- ・ 金沢大学学生支援 GP「心と体の育成による成長支援プログラム -社会に幸せをもたらす生活の知恵をもった学生の育成-」推進責任者・学生支援 GP プロジェクトメンバー

学内での教育的活動

- ・ 共通教育科目 大学社会生活論「健康論」(前期、角間) 4コマ担当。5クラス担当。
- ・ 共通教育科目 健康論実践「健康論実践 1-救急蘇生と安全な大学生活-」(前期、角間)。コーディネーター。1クラス。5/7.5コマ担当。
- ・ 共通教育科目「健康論実践2-生活習慣病予防を食事から考える-」(前期・後期、角間) コーディネーター。2クラス。
- ・ 共通教育科目 健康心理学 (前期、角間) 1クラス。3/15コマ担当。
- ・ 医学部神経内科系統講義「神経筋接合部疾患および筋疾患」(後期、宝町) 1/5コマ担当。

学内での診療活動

- ・ 附属病院神経内科外来担当 (水曜日午前)
- ・ 附属病院セカンド・オピニオン外来担当 (重症筋無力症)

学内講演

- ・ 2010.2.9 第三回金沢大学 学生支援 GP フォーラム 講演2 「学生の現状と心と体の育成による成長支援プログラムの意義」
- ・ 2010.11.11 金沢大学 学生支援 GP シンポジウム 講演 「心と体の育成による成長支援プログラム 活動報告」

学会発表

- ・ 吉川弘明：重症筋無力症の治療戦略と将来展望 ディベートセッション「免疫抑制剤投与開始の見極め」 必要に応じて免疫抑制剤を早期導入するべき 第51回日本神経学会総会 イブニングセミナー3/第9回重症筋無力症治療フォーラム、東京、2010.5.20
- ・ 吉川弘明・足立由美「大学生の片頭痛の実態と治療的介入の評価 -QOLの視点から-」第51回日本神経学会総会、東京、2010.5.20~22 (21発表)
- ・ Hiroaki Yoshikawa, Yumi Adachi. Total Health Promotion by Health Service Center in University setting. American College Health Association 2010 Annual Meeting, Philadelphia, PA, USA, 2010.06.01-05
- ・ 吉川弘明：フィジカルヘルス分野における大学での危機管理 -感染症における大学での危機管理- :第48回全国大学保健管理協会東海北陸地方部会研究集会、静岡、2010.7.22-23
- ・ 足立由美・吉川弘明「大学生を対象とした心と体の系統的健康教育-新入生に対する導入教育から課外教育まで-」日本教育心理学会第52回大会、東京、2010.8.27~29
- ・ 足立由美、吉川弘明、生田聡美、高信雅子、宮崎節子、田上芳美、池田美智子、亀田真紀、柿本晴美、清水美保、

内山勝晴、鈴木健一、小泉順二：健康教育 GP から生まれた学生組織の存在意義に関する分析：第 48 回全国大学保健管理研究集会、千葉、2010. 10. 20-21

- ・ 宮崎節子、田上芳美、池田美智子、柿本晴美、芦原百合子、高 紀子、亀田真紀、吉川弘明、内山勝晴、清水美保、足立由美、鈴木健一、小泉順二：金沢大学における感染症対策 5 年間の推移 - 新入生に対する麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、水痘の抗体検査と予防接種勧奨-：第 48 回全国大学保健管理研究集会、千葉、2010. 10. 20-21
- ・ 田上芳美、宮崎節子、池田美智子、柿本晴美、芦原百合子、高 紀子、亀田真紀、高信雅子、生田聡美、小畑公未子、吉川弘明、内山勝晴、清水美保、足立由美、鈴木健一、小泉順二：学生定期健康診断における早朝尿検査導入について：第 48 回全国大学保健管理研究集会、千葉、2010. 10. 20-21
- ・ 丸田高広、吉川弘明、吉川弘毅、高瀬文超、琢磨寛孝、中村紗季、佐藤亜有子、横山茂、岩佐和夫、山田正仁：アグリン多様性が及ぼすアセチルコリン受容体群落形成の変化-MG の新規治療法開発に関わる基礎研究-。第 22 回日本神経免疫学会、東京、2010. 3. 17-19
- ・ Takahiro Maruta, Hiroaki Yoshikawa. Autoantibody to dihydropyridine receptor in myasthenia gravis. 14th International Congress of Immunology, Kobe, 2010. 8. 22-27
- ・ Masako Negami, Takahiro Maruta, Hirotsugu Kado, Hiroaki Yoshikawa. Sympathetic Skin Response and AA-interval spectral analysis to screen Lewy body disease. 29th International Congress of Clinical Neurophysiology, Kobe, 2010. 10. 28-11. 1
- ・ 小林星太、室山明子、吉川弘明、光本泰秀：MPTP 処置マウス線条体ドパミン神経終末の脱落に対する CoQ10 の保護効果とその機序について：第 32 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム、富山、2010. 11. 29-30

学会における貢献

- ・ 全国大学保健管理協会 理事 評議員 機関誌「キャンパスヘルス」編集委員 国際交流特別委員会委員
- ・ 国立大学法人保健管理施設協議会 理事
- ・ 日本神経学会 評議員 専門医 指導医 専門医認定委員会専門委員
- ・ 日本神経免疫学会 評議員 新規治療委員会委員
- ・ 日本神経治療学会 評議員
- ・ 日本内科学会 認定医
- ・ 日本健康心理学会 会員
- ・ 日本神経心理学会 会員
- ・ 日本感染症学会 会員
- ・ 日本臨床薬理学会 会員
- ・ 日本産業衛生学会 会員
- ・ 日本公衆衛生学会 会員
- ・ 米国大学保健管理学会 (American College Health Association) 会員
- ・ 米国神経学会 (American Academy of Neurology) 会員

学会論文査読

- ・ 2010 (平成 22) 年 和文誌 1 編

研究助成等

- ・ 文部科学省・日本学術振興会・科学研究費 基盤研究 (C) (一般)「重症筋無力症自己抗体のスペクトラムに関する研究」主任研究者 (平成 19 年-22 年)
- ・ 文部科学省・日本学術振興会・科学研究費 基盤研究 (C) (一般)「損傷神経に誘導される新規蛋白がイオンチャネル活動調節・痛み情報伝達に果たす役割」分担研究者 (主任研究者：横山 茂) (平成 21 年-23 年)
- ・ 厚生労働省・難治性疾患対策研究事業「免疫性神経疾患に関する研究」班・分担研究者
- ・ 文部科学省 新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム (学生支援 GP) 選定 (平成 19 年-22 年) 「心と体の育成による成長支援プログラム -社会に幸せをもたらす生活の知恵をもった学生の育成-」
- ・ NIH/NINDS MCTX study, Principal Investigator of Kanazawa University

論文・報告書等

(報告書)

- ・ 吉川弘明、岩佐和夫、石田千穂、本崎裕子、丸田高広、古川裕、山田正仁. 重症筋無力症骨格筋における B i P / G R P 7 8 蛋白発現. 厚生労働省 特定疾患対策研究事業 免疫性神経疾患に関する調査研究班 平成 2 1 年度班会議報告書 2010
- ・ 吉川弘明、高守正治、斎田孝彦: 重症筋無力症におけるタクロリムスのプラセボ対照二重盲検 群間比較試験の結果報告. 厚生労働省 特定疾患対策研究事業 免疫性神経疾患に関する調査研究・平成 2 1 年度研究報告書. 2010
- ・ 吉川弘明、足立由美、高信雅子、生田聡美、宮崎節子、田上芳美、林佳子、亀田真紀、柿本晴美、清水美保、内山勝晴、鈴木健一、小泉順二「保健管理センターによる健康教育 1 - 集中講義参加者の解析 -」全国大学保健管理協会 CAMPUS HEALTH Vol. 47 No.1 pp. 306-307 2010.2
- ・ 足立由美、吉川弘明、高信雅子、生田聡美、宮崎節子、田上芳美、林佳子、亀田真紀、柿本晴美、清水美保、内山勝晴、鈴木健一、小泉順二「保健管理センターによる健康教育 2 - 集中講義の教育効果 -」全国大学保健管理協会 CAMPUS HEALTH Vol. 47 No.1 pp. 308-309 2010.2

(論文)

- ・ Familial ALS with G298S mutation in TARDBP: a comparison of CSF tau protein levels with those in sporadic ALS. Nozaki I, Arai M, Takahashi K, Hamaguchi T, Yoshikawa H, Muroishi T, Noguchi-Shinohara M, Ito H, Itokawa M, Akiyama H, Kawata A, Yamada M. Intern Med. 2010;49(12):1209-12. Epub 2010 Jun 15. PMID: 20558945 [PubMed - in process]
- ・ Up-regulation of MHC class I and class II in the skeletal muscles of myasthenia gravis. Iwasa K, Kato-Motozaki Y, Furukawa Y, Maruta T, Ishida C, Yoshikawa H, Yamada M. J Neuroimmunol. 2010 Aug 25;225(1-2):171-4. Epub 2010 May 23. PMID: 20546939 [PubMed - indexed for MEDLINE]
- ・ Correlation of bite force with excitation-contraction coupling time of the masseter in myasthenia gravis. Tsuda E, Imai T, Hozuki T, Yamauchi R, Saitoh M, Hisahara S, Yoshikawa H, Motomura M, Shimohama S. Clin Neurophysiol. 2010 Jul;121(7):1051-8. Epub 2010 Mar 12. PMID: 20227340 [PubMed - indexed for MEDLINE]
- ・ 吉川弘明 素顔のニューロサイエンティスト Vanda Lennon. Clinical Neuroscience 28(7):820-821, 2010

(教科書執筆)

- ・ 吉川弘明 健康論 金沢大学「大学・社会生活論」テキスト編集会議(編) 知的キャンパスライフのすすめ - スタディ・スキルズから自己開発へ- 第2版 学術図書出版社. pp121-128, 2010

学外講演

- ・ 2010.1.23 胸腺腫合併重症筋無力症における自己抗体 第7回 縦隔疾患研究会 大阪
- ・ 2010.10.5-11.2 金沢大学公開講座「心と体の健康-2010」主任講師
2010.10.5 講師 頭痛について-タイプ別頭痛対処法-
- ・ 2010.11.26 心と体の育成による成長支援プログラム活動報告 平成 2 2 年度全国学生指導担当教職員研修会 東京

学外における社会貢献活動

- ・ 厚生労働省・難治性疾患対策研究事業「免疫性神経疾患に関する研究」班・分担研究者
- ・ 日本多発性硬化症協会 医学顧問
- ・ Mayo Neuroscience Forum 幹事

特許

- ・ 特許出願 2010-012639、出願日 2010.1.22、出願者: 金沢大学、発明者: 角弘論、丸田高広、吉川弘明、発明内容; 未公開
- ・ 特許出願 2010-036739、出願日 2010.2.23、出願者: 金沢大学、発明者: 横山茂、丸田高広、吉川弘明、発明内容; 未公開
- ・ 特許出願 2010-036740、出願日 2010.2.23、出願者: 金沢大学、発明者: 角弘論、根上昌子、丸田高広、吉川弘明、発明内容; 未公開
- ・ 特許出願 2010-036741、出願日 2010.2.23、出願者: 金沢大学、発明者: 角弘論、根上昌子、丸田高広、吉川弘明、発明内容; 未公開

- ・ 特許出願 2010-059913、出願日 2010. 3. 16、出願者：金沢大学、発明者：角弘諭、根上昌子、丸田高広、吉川弘明、発明内容；未公開
- ・ 特許出願 2010-119997、出願日 2010. 5. 26、出願者：金沢大学、発明者：角弘諭、根上昌子、丸田高広、吉川弘明、発明内容；未公開
- ・ 特許出願 2010-255241、出願日 2010. 11. 15、出願者：金沢大学、発明者：角弘諭、丸田高広、吉川弘明、発明内容；未公開

鈴木 健一

学内委員会など

- ・ 学生相談連絡会委員
- ・ 学生サポートガイドブック編集委員長
- ・ きいつけまっし編集委員会委員
- ・ ハラスメント相談員（助言者）
- ・ ピア・サポート・ルーム専門スーパーバイザー
- ・ なんでも相談室相談員
- ・ 共通教育委員会 教務・学生委員（2010年3月31日まで）
- ・ 平成 21 年度社会技術研究開発事業研究開発プログラム「科学技術と社会の相互作用」による研究開発プロジェクト「自閉症にやさしい社会：共生と治療の調和の模索」の大学生早期発見・治療・支援研究グループメンバー
- ・ 金沢大学喫煙対策ワーキング・グループ・メンバー（2010年3月31日まで）

学内での教育的活動

- ・ 「カウンセリングの初歩」（共通教育後期） 15 コマ/15 を担当。
- ・ 「臨床心理学」（薬学部前期） 6 コマ/7 を担当。
- ・ 「大学・社会生活論」（共通教育前期） 3 クラス 1 コマ/15 ずつ担当
- ・ ランチョンセミナー 2009. 4. 21

学内講演

- ・ 2010. 2. 17 サークルリーダー研修会 講師
- ・ 2010. 2. 17 学生相談連絡会講演 講師
- ・ 2010. 3. 31 平成 22 年度前期 学生相談研修会
- ・ 2010. 5. 13 初任者研修 講師
- ・ 2010. 6. 2 学生相談連絡会講演 講師
- ・ 2010. 7. 5 ハラスメント研修会 講師

学会発表

- ・ 生き生きとした学生相談を構築する夢分析の活用 日本学生相談学会第 28 回大会 於岩手大学、2010/5/8-10
- ・ 虐待から生じた児童思春期のうつ状態の事例検討—臨床心理士の立場から— 第 7 回日本うつ病学会 於金沢大学、2010/6/11-12
- ・ 発達障害学生の事例 平成 22 年度障害学生修学支援事例研究会 於東京国際交流館プラザ平成 2010/8/30
- ・ 平成 22 年度メンタルヘルス研究協議会第 5 分科会 司会 於名古屋工業大学 2010. 9. 10-11

学会における貢献

- ・ 日本心理臨床学会 国際交流委員会委員
- ・ 日本学生相談学会 学術交流委員会委員
- ・ 日本精神分析学会 会員
- ・ William Alanson White Institute for Psychoanalysis and Psychotherapy Corresponding Member
- ・ 平成 22 年度東海北陸地区メンタルヘルス研究協議会実行委員会委員
- ・ 石川県臨床心理士会 事務局長

学会論文査読

- ・ 2010（平成 22）年 和文誌 1 編

論文・報告書等

（報告書）

- ・ パネルディスカッション3「事例検討—教員・親との関係を考える」 全国大学保健管理協会東海・北陸地方部会 報告書平成 21 年度 Pp. 47-48.
- ・ 第 3 分科会「発達障害—軽度の発達障害のある学生の見立ての難しさ」（岡伊織・太田裕一・鈴木健一） 第 43 回全国学生相談研究会議報告書 Pp. 17-18.
- ・ 第 4 分科会「問題行動—ストーカー行為相当のを行った統合失調症男子学生の対応について」（高橋国法・太田裕一・鈴木健一） 第 43 回全国学生相談研究会議報告書 Pp. 19-20.

（論文）

- ・ 書評特集 私の Books&Papers5 臨床心理学 10, 1, 149-150.

学外講演

- ・ 2010. 1. 27～29 京都文教大学集中講義「精神分析学」
- ・ 2010. 5. 26 平成 22 年度第 1 回石川県中学校教育相談推進会議
- ・ 2010. 7. 25 産業カウンセラー養成講座「カウンセリングの理論」
- ・ 2010. 9. 22 石川県立錦丘中学校 P T A 講演会
- ・ 2010. 11. 2 金沢大学公開講座「心と体の健康」講師（第 5 回「大学生の心の悩み」） 1/5 コマ担当
- ・ 2010. 11. 28～11. 30 第 48 回全国学生相談研修会 講師

学外における社会貢献活動

- ・ 平成 21, 22 年度 石川県スクールカウンセラー
- ・ 平成 21, 22 年度 金沢市巡回専門相談員
- ・ 平成 21, 22 年度 教員免許状更新講習「やさしい児童期思春期の精神医学」講師 4/7 コマ担当
- ・ 放送大学大学院 客員准教授

足立 由美

学内委員会など

- ・ 学生相談連絡会委員
- ・ 共通教育委員会 教務・学生委員会委員（2010 年 4 月～）
- ・ 金沢大学学生支援 GP「心と体の育成による成長支援プログラム —社会に幸せをもたらす生活の知恵をもった学生の育成—」推進副責任者・学生支援 GP プロジェクトメンバー
- ・ ピア・サポート・ルーム専門スーパーバイザー
- ・ なんでも相談室相談員
- ・ ハラスメント相談員（助言者）

学内での教育的活動

- ・ 「健康論」（共通教育「大学・社会生活論」・前期）3 クラス、1/15 コマ担当。
- ・ 「健康論実践 1—救急蘇生と安全な大学生活—」（共通教育・前期）コーディネーター。1 クラス。
- ・ 「健康論実践 2—生活習慣病予防を食事から考える—」（共通教育・前期・後期）コーディネーター。2 クラス。「食事と心の健康」1/7.5 コマ担当。
- ・ 「健康論実践 3—自己発見のためのグループワーク—」（共通教育・前期）コーディネーター。1 クラス、7.5/7.5 コマ担当。
- ・ 「健康心理学」（共通教育・前期）コーディネーター。1 クラス、15/15 コマ担当。
- ・ 「日本文化演習 I」（日本語・日本文化研修プログラム：留学生対象）1 クラス、「健康志向と自己意識」1/15 コマ

担当。

- ・ 2010.4.13 ランチョンセミナー「自分の可能性を大きく伸ばそう！ー学生支援 GP クルーメンバー募集中！ー」
- ・ 2010.6.29 ランチョンセミナー「学生のまち・金沢の推進について」
- ・ 2010.5.12-30 学生支援 GP 自分を見つめるプログラムコーディネーター「性格検査で自己分析」
- ・ 2010.6.12,6.19 学生支援 GP 自分を見つめるプログラム&アカンサス・インターンシップ講師「自己分析セミナー①ーチームワークとコミュニケーションー」
- ・ 2010.10.13,10.20 学生支援 GP 自分を見つめるプログラム&アカンサス・インターンシップファシリテーター「自己分析セミナー②ー自己の特性や興味を活かした適職さがしー」
- ・ 2010.12.15,12.22 学生支援 GP 自分を見つめるプログラム&アカンサス・インターンシップファシリテーター「自己分析セミナー③ーエントリーシート対策 3大質問に答えるー」

学内講演

- ・ 2010.2.9 第三回金沢大学 学生支援 GP フォーラム 講演2 「学生の現状と心と体の育成による成長支援プログラムの意義」
- ・ 2010.9.30 平成22年度第2回学生相談研修会：なんでも相談員研修会講師

学会発表

- ・ 足立由美「学生相談と就職相談のコラボレーションー学生支援 GP プログラムとの相乗効果ー」日本学生相談学会第28回大会 於岩手大学 2010.5.8~10
- ・ 吉川弘明・足立由美「大学生の片頭痛の実態と治療的介入の評価ーQOLの視点からー」第51回日本神経学会総会 於東京国際フォーラム 2010.5.20~22 (21発表)
- ・ Hiroaki Yoshikawa, Yumi Adachi “Total Health Promotion by Health Service Center in University Setting.” 2010 American College Health Association Annual Meeting. Philadelphia Marriott Downtown Philadelphia, Pennsylvania, June 1-5, 2010.
- ・ 足立由美・吉川弘明「大学生を対象とした心と体の系統的健康教育ー新入生に対する導入教育から課外教育までー」日本教育心理学会第52回大会 於早稲田大学 2010.8.27~29
- ・ 足立由美、吉川弘明、生田聡美、高信雅子、宮崎節子、田上芳美、池田美智子、亀田真紀、柿本晴美、清水美保、内山勝晴、鈴木健一、小泉順二「健康教育 GP から生まれた学生グループに関する分析」第48回全国大学保健管理研究集会 於幕張メッセ（千葉大学） 2010.10.20~21
- ・ 宮崎節子、田上芳美、池田美智子、柿本晴美、芦原百合子、高 紀子、亀田真紀、吉川弘明、内山勝晴、清水美保、足立由美、鈴木健一、小泉順二：金沢大学における感染症対策5年間の推移ー新入生に対する麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、水痘の抗体検査と予防接種勧奨ー：第48回全国大学保健管理研究集会、千葉、2010.10.20-21
- ・ 田上芳美、宮崎節子、池田美智子、柿本晴美、芦原百合子、高 紀子、亀田真紀、高信雅子、生田聡美、小畑公未子、吉川弘明、内山勝晴、清水美保、足立由美、鈴木健一、小泉順二：学生定期健康診断における早朝尿検査導入について：第48回全国大学保健管理研究集会、千葉、2010.10.20-21

学会における貢献

- ・ 日本学生相談学会会員
- ・ 日本心理臨床学会会員
- ・ 日本健康心理学会会員
- ・ 日本教育心理学会会員
- ・ 日本公衆衛生学会会員
- ・ 米国大学保健管理学会 (American College Health Association) 会員

研究助成等

- ・ 文部科学省・日本学術振興会・科学研究費 若手研究 (B)「大学生に対する心と体の統合的成長支援プログラムの実証的研究」(平成21-24年度)主任研究者

論文・報告書等

(報告書)

- ・ 吉川弘明、足立由美、高信雅子、生田聡美、宮崎節子、田上芳美、林佳子、亀田真紀、柿本晴美、清水美保、内山勝晴、鈴木健一、小泉順二「保健管理センターによる健康教育1ー集中講義参加者の解析ー」全国大学保健管理協会 CAMPUS HEALTH Vol. 47 No.1 pp. 306-307 2010.2
- ・ 足立由美、吉川弘明、高信雅子、生田聡美、宮崎節子、田上芳美、林佳子、亀田真紀、柿本晴美、清水美保、内山勝晴、鈴木健一、小泉順二「保健管理センターによる健康教育2ー集中講義の教育効果ー」全国大学保健管理協会 CAMPUS HEALTH Vol. 47 No.1 pp. 308-309 2010.2

(論文)

- ・ 足立由美「平成20年度の健康調査結果ー健康調査の項目検討と学年別集計結果ー」金沢大学保健管理センター 金沢大学保健管理センター年報紀要 No.2 pp.68-73 2010.3

学外講演

- ・ 2010.10.5~11.2 金沢大学公開講座「心と体の健康-2010」講師(食行動への心理学的アプローチー食行動とパーソナリティー) 1/5 コマ担当
- ・ 2010.11.19 平成22年度全国大学保健管理協会 第34回北陸地区保健管理担当職研究会 講演「食行動と心の健康ー学生の成長を支援するー」 於金沢大学

学外における社会貢献活動

- ・ 2010.8.7 田上新町町会夏祭りへの協力(学生支援GPクルーの指導)
- ・ 2010.9.27 門前町推進団体と金沢市の協定式典打ち合わせに出席 於田上公民館
- ・ 2010.9.29 門前町推進団体と金沢市の協定式典に出席 於金沢市役所
- ・ 2010.11.29 大学門前町推進協議会勉強会に出席 於田上公民館

内山 勝晴

学内委員会など

- ・ 金沢大学産業医
- ・ 金沢大学安全衛生委員会委員

学内での教育的活動

- ・ 共通教育科目 大学社会生活論「健康論」(前期、角間) 1コマ担当。
- ・ 医学部循環器内科系統講義「心臓弁膜症」(前期、宝町) 1コマ担当。

学内での診療活動

- ・ 金沢大学附属病院循環器内科 初診・再診外来担当(火曜日午前)

学内講演

- ・ 2010.6月 熱中症対策および心肺蘇生/AED 講習会

学会発表

- ・ Katsuharu Uchiyama, Kenshi Hayashi, Yuichiro Sakamoto, Noboru Fujino, Akihiko Muramoto, Junichiro Yokawa, Hidekazu Ino, Masakazu Yamagishi: Impact of QT Variables on Clinical Outcome of Genotyped Cardiomyopathy with or without Left Ventricular Hypertrophy: Evidence from Clinical Follow-up. 第74回日本循環器学会総会・学術集会 プレナリーセッション3「心臓突然死の現状と対策」 於国立京都国際会館 他 2010.3.5~7
- ・ Katsuharu Uchiyama, Hidekazu Ino, Kensuke Fujioka, Shu Takabatake, Junichiro Yokawa, Masakazu Yamagishi: Impact of Drug Eluting Stents on Treatment for Severe Coronary Disease: Evidence from Consecutive 9392 Case Analyses. 第74回日本循環器学会総会・学術集会 一般口述「Coronary Revascularization, PCI (Complex Lesions) 2」 於国立京都国際会館 他 2010.3.5~7
- ・ 内山勝晴、井野秀一、藤岡研佐、高嶋 周、余川順一郎、山岸正和、森 清男、追分久憲、金谷法忍、水野清雄、名村正伸、源 雅弘、新田 裕、荒木 勉、桶家一恭、山口正人、平瀬裕章、多々見良三、上田幸生、道下一郎、

原城達夫. 重症冠動脈病変の治療における薬剤溶出性ステントの影響; 連続 9,392 症例を用いた解析結果. 第 19 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会 (CVIT2010) 於仙台国際ホテル 他 2010.8.22~24

学会における貢献

- ・ 日本内科学会
- ・ 日本循環器学会
- ・ 日本心臓病学会
- ・ 日本心血管インターベンション治療学会
- ・ 日本不整脈学会

学会論文査読

- ・ 2010 (平成 22) 年度 Circulation journal 誌 2 編

研究助成等

- ・ 文部科学省・日本学術振興会・科学研究費 基盤研究 (C) 「ステント摘出デバイスの開発」主任研究者 (平成 20 年-22 年)

論文・報告書等

(論文)

- ・ Tsuchida M, Kawashiri MA, Uchiyama K, Sakata K, Nakanishi C, Tsubokawa T, Takabatake S, Konno T, Ino H, Yamagishi M. An enhancement device for transluminal retrieval of vascular stents without surgical procedures: experimental studies. J Interv Cardiol 2010; 23: 264-70
- ・ Hayashi K, Fujino N, Ino H, Uchiyama K, Sakata K, Konno T, Masuta E, Funada A, Sakamoto Y, Tsubokawa T, Hodatsu A, Yasuda T, Kanaya H, Kim MY, Kupersmidt S, Higashida H, Yamagishi M. A KCR1 variant implicated in susceptibility to the long QT syndrome. J Mol Cell Cardiol 2010 Oct 13. [Epub ahead of print]

(教科書執筆)

- ・ 内山勝晴, 山岸正和 スワングアンツカテーテルを使って病態を評価する 北風政史(編) 循環器臨床サピア 8 心不全の急性期対応 中山書店. pp 50-55

学外講演

- ・ 2010 (平成 22) 年 3 月 12 日~13 日 KCC Live demonstration Local Faculty & Live Commentator

清水 美保

学内委員会など

- ・ 金沢大学産業医
- ・ 金沢大学宝町・鶴町地区事業場安全衛生委員会委員
- ・ 金沢大学平和町地区事業場安全衛生委員会委員
- ・ 金沢大学安全衛生マネジメント委員会委員
- ・ 金沢大学微生物等安全管理委員会委員

学内での教育的活動

- ・ 医学部腎臓内科系統講義「膠原病と腎疾患」「間質性腎障害」(後期, 宝町) 2 コマ担当

学内での診療活動

- ・ 附属病院血液浄化療法部担当 (月曜, 水曜午前, 金曜)

学内講演

- ・ 2009.6.23, 7.1 学生支援 GP 救急蘇生法と熱中症対策 (AED の使い方を含めて)

学会発表

- ・ 清水美保, 能勢知香子, 舟本智章, 山内博行, 原章規, 北川清樹, 坂井宣彦, 古市賢吾, 和田隆志: 当科における糖尿病性腎症の臨床病理学的検討. 第 53 回日本腎臓学会学術総会, 神戸, 2010.6.16

- ・ 共同演者 6題

学会における貢献

- ・ 日本内科学会 認定医、専門医
- ・ 日本腎臓学会 専門医
- ・ 日本透析医学会 専門医
- ・ 日本アフェレンス学会 専門医
- ・ 日本リウマチ学会 専門医
- ・ 日本病態栄養学会 会員

中林 肇 (研究協力員)

学内委員会など

- ・ 環日本海環境研究センター 連携研究員

学会発表

- ・ Iwasaki, Y., Nakabayashi, H. and Yada, T.: Optimizing methods for isolating and maintaining nodose ganglion neurons for Ca²⁺ imaging. International Congress of Physiological Sciences, 2009年7月, ポスター演題番号 P4PM-5-8
- ・ Iwasaki, Y. and Yada, T.: Nesfatin-1, a new anorectic peptide, activates vagal afferent nodose ganglion neurons. 14th International Congress of Endocrinology (ICE 2010) Official Satellite Symposium, Obesity and Metabolic Syndrome (Kyoto, Japan), 2010年3月30-31日, 口演
- ・ 中林 肇, 中林逸子, 西澤 誠, 中川 淳, 古家大祐, 新島 旭: インクレチンが食後血糖を制御する神経性機序: 肝・胃神経連関の検討. 第53回日本糖尿病学会年次学術集会(岡山)5月27-29日, 2010; 口演
- ・ 中川 淳, 西澤 誠, 竹田 愛, 渥美久登, 藤井瑞枝, 伊藤弘樹, 古屋圭介, 津田真一, 中林 肇, 古家大祐: BezafibrateによりHDLコレステロールの著明な低下を来した2型糖尿病の2例. 第53回日本糖尿病学会年次学術集会(岡山)5月27-29日, 2010; ポスター
- ・ 岩崎有作, 中林肇, 清水弘行, 加計正文, 森昌朋, 矢田俊彦: Nesfatin-1はcapsaicin感受性迷走神経の細胞内Ca²⁺濃度を増加させる, 第30回日本肥満学会(静岡)、演題番号0-036、2009年10月、口演
- ・ 岩崎有作, 中林肇, 清水弘行, 加計正文, 森昌朋, 矢田俊彦: 新規摂食抑制ペプチドNesfatin-1の求心性迷走神経細胞への作用, 第37回自律神経生理研究会(東京)、演題番号5、2009年12月、口演
- ・ 岩崎有作, 加計正文, 中林肇, 矢田俊彦: 摂食抑制ペプチド Nesfatin-1の求心性迷走神経細胞への作用 -末梢Nesfatin-1の摂食抑制効果における求心性迷走神経の関与の可能性-, 自然科学研究機構生理学研究所研究会「中枢・末梢臓器間連携による摂食、エネルギー代謝調節」(愛知)、演題番号1、2010年2月12-13日、口演
- ・ 岩崎有作, 中林肇, 加計正文, 清水弘行, 森昌朋, 矢田俊彦: Nesfatin-1は求心性迷走神経細胞の細胞内Ca²⁺濃度を上昇させる: 末梢Nesfatin-1の摂食抑制経路, 第87回日本生理学会(盛岡)、演題番号20-F-2、2010年5月、口演
- ・ 岩崎有作, 中林肇, 加計正文, 矢田俊彦: インスリンによる求心性迷走神経細胞活性化とシグナル伝達, 第31回日本肥満学会(群馬)、演題番号P-131、2010年10月1-2日、ポスター
- ・ 岩崎有作, 中林肇, 加計正文, 矢田俊彦: インスリンのNodose ganglionへの直接作用とシグナル伝達, 第38回自律神経生理研究会(東京)、演題番号1、2010年12月4日、口演

学会における貢献

- ・ 日本糖尿病学会 学術評議員 専門医 研修指導医
- ・ 日本内分泌学会 功労代議員 専門医
- ・ 日本神経内分泌学会 功労評議員
- ・ 日本内科学会 認定医
- ・ 米国糖尿病学会 会員

- ・ 米国内分泌学会 会員

論文・報告書等

(論文)

- ・ Mano-Otagiri A, Iwasaki-Sekino A, Nemoto T, Ohata H, Shuto Y, Nakabayashi H, Sugihara H, Oikawa S, Shibasaki T. : Genetic suppression of ghrelin receptors activates brown adipocyte function and decreases fat storage in rats. Regul Pept. 2010 Feb 25;160(1-3):81-90. Epub 2009 Nov 18
- ・ Iwasaki Y, Nakabayashi H, Kakei M, Shimizu H, Mori M, Yada T. : Nesfatin-1 evokes Ca²⁺ signaling in isolated vagal afferent neurons via Ca²⁺ influx through N-type channels. Biochem Biophys Res Commun. 2009 Dec 18;390(3):958-62. Epub 2009 Oct 21.

(総説)

- ・ 中川 淳, 西澤 誠, 中林 肇, 古家大祐: インクレチンの基礎 4. インクレチンの膵外作用: 中枢神経への作用. 月刊糖尿病2 (2) 別冊インクレチン, 45-55, 2010.

学外講演

- ・ GLP-1 と臓器間神経連関について, 第6回-Kyoto Expert Meeting, 京都市(京都大学), 2010年4月21日, 講師

学外における社会貢献活動

- ・ 石川県立中央病院 倫理委員会委員
- ・ 石川県立看護大学 非常勤講師

丸田 高広 (協力研究員)

学内での診療活動

- ・ 附属病院神経内科外来担当 (木曜日午後)

学会発表

- ・ 丸田高広, 吉川弘明, 吉川弘毅, 高瀬文超, 琢磨寛孝, 中村紗季, 佐藤亜有子, 横山茂, 岩佐和夫, 山田正仁: アグリン多様性が及ぼすアセチルコリン受容体群落形成の変化-MG の新規治療法開発に関わる基礎研究-. 第22回日本神経免疫学会, 東京, 2010. 3. 17-19
- ・ 根上昌子, 丸田高広, 角 弘諭, 東壮太郎, 山本 達: もの忘れドックにおける脈波スペクトル解析の有用性について. 第19回日本脳ドック学会, 山形, 2010. 6. 18-19
- ・ Takahiro Maruta, Hiroaki Yoshikawa. Autoantibody to dihydropyridine receptor in myasthenia gravis. 14th International Congress of Immunology, Kobe, 2010. 8. 22-27
- ・ Masako Negami, Takahiro Maruta, Hirotsugu Kado, Hiroaki Yoshikawa. Sympathetic Skin Response and AA-interval spectral analysis to screen Lewy body disease. 29th International Congress of Clinical Neurophysiology, Kobe, 2010. 10. 28-11. 1

学会における貢献

- ・ 日本内科学会 認定医
- ・ 日本神経学会 専門医・指導医・東海北陸地方会世話人
- ・ 日本神経免疫学会 評議員
- ・ 日本神経治療学会 会員
- ・ 日本認知症学会 会員
- ・ 日本臨床神経生理学会 会員
- ・ 日本自律神経学会 会員
- ・ 日本脳ドック学会 会員
- ・ 日本人間ドック学会 会員

論文・報告書等

(論文)

- ・ Iwasa K, Kato-Motozaki Y, Furukawa Y, Maruta T, Ishida C, Yoshikawa H, Yamada M. Up-regulation of MHC class I and class II in the skeletal muscles of myasthenia gravis. J Neuroimmunol. 2010 Aug 25;225(1-2):171-4.

学外講演

- ・ 8月6日 平成22年度金沢大学新技術説明会 東京 「認知症のタイプの脈波もしくは神経伝導検査による簡易判別法」
- ・ 10月5日～11月2日 金沢大学公開講座「心と体の健康-2010」講師 1/5 コマ担当

学外における社会貢献活動

- ・ 金沢市お年寄り介護福祉支援センター「えきにしほんまち」 認知症教室

特許

- ・ 特許出願 2010-012639、出願日 2010. 1. 22、出願者：金沢大学、発明者：角弘諭、丸田高広、吉川弘明、発明内容；未公開
- ・ 特許出願 2010-036739、出願日 2010. 2. 23、出願者：金沢大学、発明者：横山茂、丸田高広、吉川弘明、発明内容；未公開
- ・ 特許出願 2010-036740、出願日 2010. 2. 23、出願者：金沢大学、発明者：角弘諭、根上昌子、丸田高広、吉川弘明、発明内容；未公開
- ・ 特許出願 2010-036741、出願日 2010. 2. 23、出願者：金沢大学、発明者：角弘諭、根上昌子、丸田高広、吉川弘明、発明内容；未公開
- ・ 特許出願 2010-059913、出願日 2010. 3. 16、出願者：金沢大学、発明者：角弘諭、根上昌子、丸田高広、吉川弘明、発明内容；未公開
- ・ 特許出願 2010-119997、出願日 2010. 5. 26、出願者：金沢大学、発明者：角弘諭、根上昌子、丸田高広、吉川弘明、発明内容；未公開
- ・ 特許出願 2010-255241、出願日 2010. 11. 15、出願者：金沢大学、発明者：角弘諭、丸田高広、吉川弘明、発明内容；未公開

根上 昌子（研究協力員）

学会発表

- ・ 根上昌子, 角弘諭, 山本達, 丸田高広：もの忘れドックにおける脈波スペクトル解析の有用性について. 第51回日本人間ドック学会 於旭川市民文化会館/旭川グランドホテル 2010. 8. 26～27.
- ・ 尾田恵, 根上 昌子, 松田久美, 柿木愛, 小林豊子, 山本達, 丸田高広：もの忘れドックにおける交感神経皮膚反応の有用性について. 第51回日本人間ドック学会 於旭川市民文化会館/旭川グランドホテル 2010. 8. 26～27.
- ・ 尾田恵, 中山千紘, 丸田高広, 根上昌子：呼吸機能検査の苦痛度調査-スパイログラムとモストグラフの比較-. 第51回日本人間ドック学会 於旭川市民文化会館/旭川グランドホテル 2010. 8. 26～27.
- ・ 根上昌子, 丸田高広, 角弘諭, 東壮太郎, 山本達：もの忘れドックにおける脈波スペクトル解析の有用性について. 第51回日本脳ドック学会 於山形テレサ 2010. 6. 18～19.
- ・ Masako Negami, Takahiro Maruta, Hirotsugu Kado, Hiroaki Yoshikawa：Sympathetic Skin Response and AA-interval spectral analysis to screen Lewy body disease. 第29階国際臨床神経整理学会 2010. 10. 28～2010. 11. 1.

学会における貢献

- ・ 日本温泉気象医学会 認定医
- ・ 日本人間ドック学会 専門医
- ・ 日本禁煙学会会員
- ・ 日本総合健診医学会 専門医
- ・ 日本睡眠学会会員
- ・ 日本肥満学会会員
- ・ 日本産業衛生学会会員

学外講演

- ・ 1月20日 中能登衛生管理者研究会 七尾 「衛生管理者のための健診ドックの上手な受け方と事後処理」
- ・ 2月12日 七尾市立等部中学校 立志式講演「立志式に向けて」
- ・ 3月11日 中島町ロータリークラブ 中島町「人間ドックってなんだろう」
- ・ 5月16日 第4回石川県がん診療連携協議会県民公開講座かしこい がん医療の受け方「がん相談について」
- ・ 11月19日 七尾海上保安庁 「生活習慣病予防」

論文・報告書等

- ・ 根上昌子, 丸田高広, 角 弘論, 吉川弘明「核医学を用いた「ものわすれドック」の展開 - PET ドックの試み」月刊新医療 2010 第37巻3号 54-57

枝廣 茂樹（研究協力員）

学会発表

- ・ 枝廣茂樹、松波寿雄、岡田睦子、武部正代：薬剤師、がん性疼痛看護認定看護師が行う緩和ケアラウンドに対する評価～病棟看護師への意識度調査より～、第4回日本緩和医療薬学会年会、鹿児島市民文化ホール、2010.9.25-26.
- ・ 枝廣茂樹、中村千里、松波寿雄、岡田睦子、武部正代：薬剤師、がん性疼痛看護認定看護師が行う緩和ケアラウンドに対する評価 第2報～神経ブロックが奏功した難治性疼痛患者一例を通して～、第20回日本医療薬学会年会、幕張メッセ、2010.11.13-14.

論文・報告書等

(論文)

- ・ 枝廣茂樹、松波寿雄、岡田睦子、吉川弘明：外来患者の睡眠に対する Bezafibrate の効果. 薬理と治療, 38(5), 429-433, 2010.

学会における貢献

- ・ 日本病院薬剤師会会員
- ・ 日本医療薬学会会員
- ・ 日本緩和医療薬学会会員
- ・ 日本臨床腫瘍学会会員

学外講演

- ・ 3月20日 第13回がん薬物療法セミナー 「各施設における緩和ケアへの取り組み～当院における緩和ケアでの問題点と取り組み～」(石川総合スポーツセンター) 講師

2. スポーツ教育部門

北浦 孝

学内委員会など

- ・ 共通教育「身体・スポーツ系」幹事

学内での教育的活動

- ・ 「ソフトボール・実技」(前期) 2コマ 15回/15週を担当
- ・ 「テニス・実技」(前期) 1コマ 15回/15週を担当
- ・ 「スポーツ生命科学実験・ゼミ」(前期) 1コマ 15回/15週を担当
- ・ 「バスケットボール・実技」(後期) 2コマ 15回/15週を担当
- ・ 「Jog&Circuit トレーニング・実技」(後期) 1コマ 15回/15週を担当
- ・ 「パワートレーニング・演習」(後期) 1コマ 15回/15週を担当
- ・ 「野外活動」前期集中(寶學・村山合同開講) 1コマ 15回/15週を担当
- ・ 「パワートレーニング・演習」(後期集中) 1コマ 9回/15週を担当
- ・ アメリカンフットボール部 顧問
- ・ チア・リーダー部 顧問
- ・ アスレチックトレーナー部 顧問

学会発表

国内：主演者 1、共同 1

- ・ 第65回日本体力医学会：「クレンブテロール鏡像異性体の骨格筋肥大作用の解析」
- ・ 北浦 孝、於千葉商科大学／和洋女子大学(千葉) 2010年9月18日(9/16~18)
- ・ 第65回日本体力医学会：ワークショップ3「スポーツ科学における骨格筋の研究の動向と今後の方向性—生化学分野からの視点—」春日 規克、的場 秀樹、北浦 孝、竹倉 宏明、於千葉商科大学／和洋女子大学(千葉) 2010年9月16日(9/16~18)

海外：国際学会 主演者 1、共同 1

- ・ 57th American College of Sports Medicine 「Effects Of Clenbuterol Enantiomers On Bone and Muscles of Young Rat.」 Takashi Kitaura, Baltimore Convention Center in Baltimore (Maryland) 2010年6月2日(6/2~5)
- ・ 57th American College of Sports Medicine 「Effect of Resistance Training on Oxidative Stress and Antioxidant Capacity in Rats.」 Matoba, H., Yada, K., and Kitaura T. Baltimore Convention Center in Baltimore (Maryland) 2010年6月2日(6/2~5)

学内発表

- ・ 第261回 共同学集会 3月24日(水) 於：角間キャンパス総合教育1号館大会議室
- ・ 「角間キャンパス運動施設に関する問題点の把握と対策について(屋内施設)」北浦 孝
- ・ 2010年度第1回学生・学習支援研究会 9月29日(水) 於：角間キャンパス総合教育1号館大会議室
- ・ 「角間キャンパス運動施設に関する問題点の把握と対策について(屋外施設)」北浦 孝

学会における貢献

- ・ アメリカスポーツ医学会 評議員(Fellow)
- ・ 日本体力医学会 評議員
- ・ 日本生理学会 会員
- ・ 日本生物物理学会 会員
- ・ 日本薬理学会 会員
- ・ 日本生化学会 会員
- ・ 日本電気泳動学会 会員
- ・ 研究助成等

- ・ 平成 21-23 年度科学研究費補助金（基盤研究（C））
- ・ 「ドーピング規制薬物（アドレナリン受容体作動薬）の影響における分子機構の解明」
- ・ 平成 22 年度渋谷学術文化スポーツ振興財団助成金
- ・ 「遺伝子多型と運動能力の関係についての研究」

論文・報告書等

（論文）

- ・ Kitaura T. Effects Of Clenbuterol Enantiomers On Bone and Muscles of Young Rat. (2010) 42(5); S271.
- ・ Matoba, H., Yada, K., and Kitaura T. Effect of Resistance Training on Oxidative Stress and Antioxidant Capacity in Rats. Med. Sci. Sports Exerc. (2010) 42(5); S208-209.
- ・ 北浦 孝. 「クレンプテロール投与による初老ラットの骨格筋への影響」体力科学 (2010)59(6);941

寶學 淳郎

学内委員会など

- ・ 共通教育「身体・スポーツグループ」幹事代表
- ・ 共通教育カリキュラム調整委員会委員

学内での教育的活動

（学部）

- ・ スポーツの歴史（2010、前期、15 コマ/15 を担当）
- ・ 身体・スポーツ実技 サッカー（2010、前期、2 クラス、15 コマ/15 を担当）
- ・ 身体・スポーツ実技 リフレッシュスポーツ（2010、前期、15 コマ/15 を担当）
- ・ 身体・スポーツ実技 野外活動（2010、前期集中、5 コマ/15 を担当）
- ・ サッカーの歴史（2010、後期、15 コマ/15 を担当）
- ・ 身体・スポーツ実技 フットサル&サッカー（2010、後期 2 クラス、15 コマ/15 を担当）

（大学院－教育学研究科）

- ・ 保健体育科教科内容特論 F（2010、前期、15 コマ/15 を担当）
- ・ 教育実践基礎研究（2010、前期、3 コマ/15 を担当）
- ・ 課題研究 I（2010、前期、15 コマ/15 を担当）
- ・ 保健体育科教科内容研究演習 F（2010、後期、15 コマ/15 を担当）
- ・ 課題研究 II（2010、後期、15 コマ/15 を担当）

学会における貢献

- ・ 日本体育学会体育史専門分科会理事 及び学会誌編集委員 2009
- ・ 東北アジア体育・スポーツ史学会 日本支部理事 2007
- ・ 日本スポーツ産業学会 スポーツ産業史専門分科会事務局 2007
- ・ 日本体育学会 会員
- ・ スポーツ史学会 会員

学会論文査読

- ・ 2010 年度「体育史研究」 3 編

論文・報告書等

- ・ 寶學淳郎、旧東ドイツスポーツ関係者の言説－自叙伝的著作（2001-2007 年）の分析を中心に－スポーツ史学会第 24 回大会発表抄録集、2010、14-15 頁
- ・ 寶學淳郎、サッカーの伝播・受容を考える、日本体育学会第 61 回大会抄録集、2010、30 頁

学外における社会的貢献

- ・ 文部科学省「スポーツ政策調査研究」諸外国調査委員会委員（ドイツ担当） 2010

村山 孝之

学内での教育的活動

共通教育

- ・ メンタルトレーニング 講義 (2010年度) 前期：1コマ 15回/15週を担当
- ・ 身体と運動の心理学 講義 (2009年度) 後期：1コマ 15回/15週を担当
- ・ 身体と運動の心理学 講義 (2010年度) 後期：1コマ 15回/15週を担当
- ・ 身体・スポーツ実技/ソフトテニス初級 (2010年度) 前期：1コマ 15回/15週を担当
- ・ 身体・スポーツ実技/ソフトテニス中上級 (2010年度) 前期：1コマ 15回/15週を担当
- ・ 身体・スポーツ実技/バドミントン (2009年度) 後期：2コマ 15回/15週を担当
- ・ 身体・スポーツ実技/バドミントン (2010年度) 前期：1コマ 15回/15週を担当
- ・ 身体・スポーツ実技/バドミントン (2010年度) 後期：2コマ 15回/15週を担当
- ・ 身体・スポーツ実技/ソフトテニス&バドミントン (2009年度) 後期：1コマ 15回/15週を担当
- ・ 身体・スポーツ実技/ソフトテニス&バドミントン (2010年度) 後期：1コマ 15回/15週を担当
- ・ 身体・スポーツ実技/野外活動 (2010年度) 集中講義：1コマ 担当

学域・学類（人間社会学域地域創造学類）

- ・ スポーツ心理学 講義 (2010年度) 前期：1コマ 15回/15週を担当

大学院（教育学研究科）

- ・ 保健体育科教科内容研究特論 E (2010年度) 前期：1コマ 15回/15週を担当
- ・ 保健体育科教科内容研究演習 E (2009年度) 後期：1コマ 15回/15週を担当
- ・ 保健体育科教科内容研究演習 E (2010年度) 後期：1コマ 15回/15週を担当
- ・ 教育実践基礎研究 (2010年度) 前期：1コマ 3回/15週を担当

<課外活動>

- ・ ソフトテニス部顧問

学内講演

- ・ 2010.2.9 第3回金沢大学学生支援 GP フォーラム「心と体の育成による成長支援プログラム」
意見交換会

学会発表

- ・ 石村宇佐一, 村山孝之, 花岡美智子, 土田晶子 (2010) 弓道選手における心理的スキルトレーニングプログラムの検討 - 国体選手を事例として - . 日本スポーツ心理学会 第37回大会, 福山大学社会連携研究推進センター, 2010.11.20

学会における貢献

- ・ 日本スポーツ心理学会 会員
- ・ 国際スポーツ心理学会 会員
- ・ 北米スポーツ心理学会 会員
- ・ 日本体育学会 会員
- ・ 北陸体育学会 会員
- ・ 日本運動学習研究会 会員
- ・ 身体知研究会 会員

研究助成, 学術賞等

(研究助成)

- ・ 科学研究費補助金 若手研究 (B) 「「あがり」の発現機序の解明：運動スキルの閉鎖－開放次元に着目して」 (2010～2012年度) (単独)

(学術賞)

- ・ 平成22年度 日本体育学会「学会賞 (奨励賞)」

村山孝之, 田中美吏, 関矢寛史 (2009) 「あがり」の発現機序の質的研究. 体育学研究, 54 : 263-277.

- ・平成22年度 日本スポーツ心理学会「優秀論文奨励賞」

田中美吏, 瓜本健助, 村山孝之, 関矢寛史 (2009) プレッシャーが全身協応運動に及ぼす影響. スポーツ心理学研究, 36 : 103-114.

論文・報告書等

(原著論文)

- ・ Murayama, T., Tanaka, Y., & Sekiya, H. (2010) Factor analysis of the mechanisms underlying “choking under pressure” in sports. The Asian Journal of Exercise & Sports Science, 7 : 56-60.

(報告書)

- ・北浦 孝, 寶學淳郎, 村山孝之 (2010) 平成21年度の金沢大学における文部科学省体力テストの評価. 金沢大学保健管理センター年報・紀要, 第2号, pp. 74-76.
- ・石村宇佐一, 村山孝之, 花岡美智子, 土田晶子 (2010) 卓越さの追求 -勝利のためのメンタルトレーニング-. 平成21年度石川県教育委員会科学的トレーニング特別強化事業報告書, pp. 21-22.

学外講演

- ・2010. 11. 28 金沢大学サテライトプラザ講演 「身体運動と‘あがり’」 講師
- ・2010. 10. 26 金沢大学公開講座 「心と体の健康 - 2010 様々な状況で実力を発揮するためのメンタルトレーニング」 講師
- ・2010. 5. 21 石川県教育委員会科学的トレーニング特別強化事業 現場直結セミナー「勝利のためのイメージトレーニング」 講師
- ・2010. 3. 6 『特別教育セミナー』「運動・スポーツ指導のためのスポーツ心理学」 講師 (後援: 大塚製薬・北國新聞)

学外における社会貢献活動

- ・石川県教育委員会「科学的トレーニング特別強化事業」科学的トレーニング専門グループ委員 (2009ー)
- ・財団法人 北陸体力科学研究所 評議員 (2010ー)
- ・北陸大学 非常勤講師 (2010ー)
- ・北陸学生ソフトテニス連盟会長 (2010ー)